

事務事業名		交通安全啓発事業		目標設定日	平成29年3月1日
				部・局	くらしと文化部
総合計画体系	基本政策	5	安心・安全な住みよいまちづくり	課・室	市民課
	政策	03	防犯・交通安全対策の強化	係	生活交通安全係
	施策	02	交通安全の推進	内線電話	238
予算体系	会計	一般会計		実施計画	
	款	2款	総務費	未計上	
	項	1項	総務管理費	実施期間	
	目	5目	交通安全対策費	合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	市民	意図（どのような状態にしたいのか）	交通ルールを守り、交通事故にあわない・おこなさいという交通安全意識の普及を図り、安全で安心して暮らせる市にする。
	現状・課題	平成28年の交通事故は、件数、負傷者数は前年を下回ったが、高齢者が関わる交通死亡事故が4件発生したことから、今後も高齢者交通安全啓発が必要である。		
市が行う理由及びその根拠	義務的自治事務	交通安全対策基本法、中野市交通安全条例		
事務事業概要	中野警察署や関係機関と連携し、交通安全啓発チラシの配布や高齢者を対象とした安全教室・講話の開催、小学生の自転車運転技能講習や季別の交通安全運動の実施等総合的な普及啓発を図る。			
平成29年度の活動指標 アウトプット	活動内容		活動量	
	高齢者交通安全実践事業「いきいきなかの交通安全塾」の開催		3回	
	高齢者地域安全塾の開催		20回	
	市内小学校での自転車運転技能講習会の開催		小学校11校	
	季別の交通安全運動の実施		4回	

事務インプット	項目		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	予算額	当初予算	円		6,677,000	4,293,000
補正予算		円				—
合計		円		6,677,000	4,293,000	6,776,000
決算（見込）額 A			円	5,589,543	4,293,000	—
H29は予算額	財源内訳	国庫支出金	円			
		県支出金	円			
		市債	円			
		その他特定財源	円	468,000	434,000	384,000
	一般財源	円	5,121,543	3,859,000	6,392,000	
正規職員数		人		0.67	0.67	0.82
人件費 B		円		4,429,370	4,426,690	5,417,740
総事業費 A+B		円		10,018,913	8,719,690	12,193,740
市民1人当たりコスト		円		228	200	281

成果指標	アウトカム	方向	平成27年度		平成28年度		平成29年度		
交通事故発生件数		維持	目標	150	件	140	件	140	件
			成果	112	件	126	件	—	
シートベルト着用率		維持	目標	100.0	%	100.0	%	100.0	%
			成果	99.6	%	100.0	%	—	
成果指標と目標値の設定理由	高齢者交通事故防止を重点的課題に啓発の結果、交通事故件数は減少した。高齢者などの死亡事故ゼロを目指す。シートベルトの着用は定着しつつある。								

平成29年度の実施方針	例年どおり実施	活動量	増やす	コスト	維持する	成果	上げる
	より多くの高齢者へ交通事故防止の啓発をするため、交通安全塾へ参加する高齢者を増やすとともに、講話の回数を増やす。						

